

12月22日(土) 14:00~17:45 アド・エンジニアーズ・オブ・トーキョー4F 会議室
参加者: 黒澤、三谷、川崎、久野、春日、杉浦、作宮、戸田、小倉、吉田、島田、内田、中村
(横山、佐藤)

①作家招致担当による参加要請作家リスト洗い出し (作宮)

作家招致グループによる参加要請作家リスト (約250名) を元に取り捨選択
および大まかに担当者の決定作業をした

- ・各担当は年内に作宮さんの方からリストで今一度自分の担当を知らせてもらう
- ・今後、まずメールもしくは郵送にて展覧会の趣旨、内容を伝える
- ・その後、各担当が基本電話にて確認していく
- ・アドレス、住所等は基本自分で調べるがどうしても無理でしたら三谷さんに問い合わせる
- ・目標としてはこの一連の作業の中で100名程度の参加者を確保!
- ・リストに関しては20代30代の人間がまだまだ少ないので、各人が注意して探したり美大の先生の協力をあおいでいく

②「わ」をどう伝えるか、また参加する意義について (箇条書きで)

- ・当初、出していたように色々な「わ」を理解してもらうために「わ」の漢字をいっぱい並べる
- ・社会的な地位のある人には美大の若手を育てませんか助けていきませんかの姿勢で、さらに資金的な援助までも要請してはどうか
- ・若手、ベテランの混在の意味としては「同窓会の輪」の一部となりその輪を繋いでいくことにより美大同窓生の輪、強いては金沢美大の輪を一段と大きなものに
- ・作家と鑑賞者・買い手、作家と作家の「コミュニケーションの輪」が大切、3331にはその土壌がある

③同じく作家招致担当による 搬入・搬出の検討 (杉浦)

2016年のカナビズムを参考に搬入・搬出の方法の検討時間切れで未達
次回までに二つの業者 (ヤマト、立川?) に見積もり依頼

二つの役割に分けて分科会と全体会の併用でその都度、目的を明確にして進めていく。

役割の再構築

(作家招致担当) 作宮(リーダー)、杉浦、戸田、横山、吉田、三谷

(展示・会場担当) 内田(リーダー)、川崎、吉田、黒澤、圓角、戸田、小倉、佐藤

(助成金担当) 島田、中村

補足 (忘年会で出た有意義だと思われる意見)

- ・展示に競争意識を持たせるために若手対ベテランのような対立状況を作り人気投票 (毎日発表) のような手法で強い刺激を与える
- ・森八とか萬歳楽の金沢ゆかりスポンサーとの共同出展資金かせぎ
- ・金沢市からの援助を受ける方法を探るために、前金沢市東京所長の嶋浦さんが東京に来た折にコンタクトを取る

次回委員会 1月26日 (土) 14:00~ アドエン